



2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES



写真提供：奥山順一会員

Rotary  **倉敷南ロータリークラブ**
国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961
〒712-8001 倉敷市連島町西之浦4141ヘルスピア倉敷

第 2859 例会 R. Song 「四つのテスト」 天候：晴れ No.2859/2021. 3. 26

Guest 作陽短期大学音楽学科 矢内直行様 Visitor なし

出席 会員数 64名（うち出席規定免除者②名①12名）

3/26の出席率 69.09%（出席者38名、内①5名）

欠席 土井、江澤、藤木、石本(満)、神野、松隈、中川、緒方、奥山、納、齋藤、田中、
椿原、和田(一)、渡辺(英)、山中、古山、各会員（17名）

●永井直前会長（北尾会長代理）

- ・皆さんこんにちは。これから3か月間、北尾会長代行として務めさせていただきます。北尾年度のスケジュールが決まっていますので、これに沿って進めて行きたいと思います。
- ・退会会員がいらっしゃいます。北尾会長は3月31日で退会されますが、前回の例会でコメントを頂いております。三菱ケミカル物流㈱の古田会員は、本日欠席ですがメッセージを預かっていますのでご披露します。三菱ガス化学㈱の毛戸会員、倉敷芸術科学大学 奥本会員から退会のご挨拶を頂きます。（退会の挨拶）
- ・先ほど例会前に持ち回り理事会を開催しました。新会員候補者2名（森山様、大谷様）の賛否をお諮りしたいのでよろしくお願ひします。
- ・先週の例会はクラブ定款により取り止めでした。先週3月20日(土)に会長エレクト研修セミナー（PETS）が鳥取で開催され、小田会長エレクトが出席しています。小田会長エレクトには5月21日の例会で報告をしていただきます。

●幹事報告(野口副幹事)

- ・岩崎地区G事務所より、会員増強・R財団合同セミナーについて、他報告11件。

●スマイル報告(渡辺(清)副 S. A. A・安藤副 S. A. A)

- ・渡辺(清)副 SAA、安藤副 SAA：永井直前会長、会長代行頑張ってください。
- ・永井直前会長、渡辺(清)副 SAA、安藤副 SAA：矢内直行教授の卓話を歓迎します。
- ・佐藤副会長：①永井会長代行様、副会長として全力でサポートさせていただきます。②矢内教授の卓話を歓迎いたします。
- ・永井直前会長：①北尾年度、最後の3か月、会長の代行をさせていただきます。よろしく

お願いいたします。②矢内教授の卓話を歓迎します。

- ・桐野会員：兼ねてより進めてきました「ラジオみずしまコメコメスタジオ」が4/7(水) 15:30～16:00の30分間、水島の地でFMラジオが誕生します。毎週水曜日の楽しみにしてください。パーソナリティーは「ムーミンきりの」が行います。
- ・奥本会員：①矢内教授、卓話を有難うございます。②花束を有難うございます。③今日が最後になります。お世話になりました。

●プログラム 卓話「倉敷市の歴史と文化～私の作曲活動を通じて～」

作陽短期大学音楽学科 教授 矢内直行様

- ・私は作曲家ということですが、音楽大学の学生時代は、久石譲さんと同期で仲良く教えて頂いていました。連島は私の人生で重要なポイントとなっています。同じ大学の声楽科に田中誠さんがいて、自分でも作曲し、その土地にゆかりのある詩を歌っていました。私が倉敷に来たので、薄田泣菫(すずきだきゅうきん)が書いた詩を作曲するよう依頼が有りました。
- ・薄田泣菫は近代ローマン史の頂点に立つ偉大な詩人です。文学史上に残る詩人の詩に曲をつけることになりました。泣菫の詩は、長くて難しい漢文も多いので、ひらかなで短い詩を選んで作曲することにしました。連島には泣菫が少年時代に過ごした生家が保存されており、その生い立ち足跡が見えるようで、次第に自分を近づけるような気になってきました。泣菫初期の詩集にある「待ちごころ」を選んで作曲することにしました。作曲にあたって泣菫が歩いたであろう山野も歩いて一体になろうと努力しました。10年程前にライフパーク倉敷で発表会を開催。「水島を元気にする会」の会長だった中川電機の社長に演歌風に歌ってもらいました。CDでお聴きください。さながら菫の匂うような詩です。
- ・難しい詩にも取り組んでみようと「兄と妹」を合唱曲に作曲し、次に「公孫樹下にて」を作曲しました。公孫樹はイチョウの別名です。明治終わり頃の日露戦争で出兵する兵隊を鼓舞する歌としてヒットしました。
- ・泣菫は、30代以降結婚をして大阪の新聞社に勤務しました。連載小説の編集責任者として志賀直哉や菊池寛とのやり取りの手紙が残っています。泣菫の随筆には連島のことか詰まっています。連島の人達は芸事が好きで、四国からの浄瑠璃や旅芸人を楽しみにしていました。連島地区の民謡の伝承は絶賛に値するもので、特に祭礼の歌は、千歳楽で子供たちに伝承されており素晴らしい事です。
- ・随筆には、子供のころ野山を散策して鳥の声や花の香、遠浅の海など生き物の観察が多く書かれている。人間だけでなく、生きとし生けるもの生命のあるものは皆大切なものです。明るい未来とは生態系の調和を守っていくことでもあります。同期の久石と音の世界の調和を学んできました。泣菫の詩の作曲を通じて皆さんに調和を伝えながら生きていきたい。

例会プログラム予定：

2021.4.2(金)卓話「倉敷の魅力発信」 倉敷芸術科学大学生命科学科准教授 山野ひとみ 様

2021.4.9(金)卓話 倉敷南ローターアクトクラブの現状 倉敷南 RAC 富永会長、中田幹事